



平成 23 年 11 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 7 月 8 日

上場会社名 サンケイ化学株式会社 上場取引所 福
 コード番号 4995 URL <http://www.sankei-chem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 宮下 武久 (TEL) 099(268)7588
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 7 月 14 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 11 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 11 月期第 2 四半期	3,688	△3.3	208	△11.6	227	△4.2	134	△10.5
22 年 11 月期第 2 四半期	3,812	3.6	235	△29.4	237	△32.2	150	△20.3

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 11 月期第 2 四半期	13.76	—
22 年 11 月期第 2 四半期	15.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 11 月期第 2 四半期	6,598	2,042	30.3	204.36
22 年 11 月期	5,491	1,923	34.1	191.50

(参考)自己資本 23 年 11 月期第 2 四半期 1,999 百万円 22 年 11 月期 1,874 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 11 月期	—	—	—	1.50	1.50
23 年 11 月期	—	—	—	—	—
23 年 11 月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,570	△2.3	215	31.2	210	21.3	105	1.1	10.73

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年11月期2Q	10,197,000株	22年11月期	10,197,000株
② 期末自己株式数	23年11月期2Q	411,799株	22年11月期	410,349株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年11月期2Q	9,785,464株	22年11月期2Q	9,787,099株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア諸国への輸出の拡大や設備投資の増加などで緩やかな景気回復の兆しがみられつつありましたが、3月11日に発生した東日本大震災により、先行きへの不透明感が増す状況で推移いたしました。

国内の農業に関しましては、農業就業者の高齢化・減少並びに政府のTPP参加検討等の日本農業の根本に係わる大きな問題に加え、東日本大震災の津波による塩害や、原子力発電所事故による農作物の作付制限など厳しい状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、従来からの地域密着を基本に、食品由来物質による「サンクリスタル乳剤」、「ハッパ乳剤」、「ビオネクト」並びに水田のスクミリンゴガイ防除薬剤「スクミノン」等の独自剤を中心に、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業並びに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36億88百万円（前年同期比1億24百万円、3.3%減）となりました。損益面では、売上原価率は低下しましたが売上高が減少したことにより営業利益は2億8百万円（前年同期比27百万円、11.6%減）、経常利益は営業外収益の増加もあり2億27百万円（前年同期比9百万円、4.2%減）となり、四半期純利益は1億34百万円（前年同期比15百万円、10.5%減）となりました。

当社グループはセグメントは公表しておりませんが、製品の用途別売上は次のとおりであります。殺虫剤は、畑作用が減少し21億14百万円（前年同期比1億66百万円、7.3%減）、殺菌剤は園芸用が増加し4億80百万円（前年同期比58百万円、13.9%増）、殺虫殺菌剤は園芸用が減少し2億90百万円（前年同期比16百万円、5.3%減）、除草剤は園芸用が増加し3億30百万円（前年同期比66百万円、25.4%増）、その他は園芸用が減少し2億84百万円（前年同期比29百万円、9.2%減）、農業外その他は防除事業及びその他資材が減少し1億87百万円（前年同期比37百万円、16.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は65億98百万円で、前連結会計年度末に比べて11億6百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに信託受益権等が増加したことによるものであります。

負債は45億55百万円で、前連結会計年度末に比べて9億87百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金並びに短期及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は20億42百万円で、前連結会計年度末に比べて1億18百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、7億92百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億69百万円の減少（前年同期は2億15百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益2億26百万円、仕入債務の増加4億48百万円等の資金増加を、たな卸資産の増加90百万円、売上債権の増加11億72百万円等の資金減少が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、58百万円の減少（前年同期は1億26百万円の減少）となりました。これは主に固定資産の取得58百万円等の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億36百万円の増加（前年同期は4億31百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金による5億円、短期借入金による1億30百万円の資金増加が、長期借入金の返済70百万円、配当金の支払14百万円等の資金減少を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月期の通期の連結業績予想は、平成22年11月期決算発表時（平成23年1月14日）の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係わる減価償却費の額を期間按分して処理する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	792,193	884,245
受取手形及び売掛金	2,132,562	1,364,715
信託受益権	911,097	506,552
商品及び製品	849,690	841,887
仕掛品	46,407	66,972
原材料及び貯蔵品	332,824	229,225
繰延税金資産	73,798	54,421
その他	36,300	109,428
貸倒引当金	△1,015	△1,293
流動資産合計	5,173,858	4,056,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	266,670	279,487
機械装置及び運搬具(純額)	148,242	169,376
土地	125,824	125,824
リース資産(純額)	42,240	35,035
その他(純額)	43,376	41,909
有形固定資産合計	626,355	651,633
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	30,600	30,600
その他	3,349	2,950
無形固定資産合計	33,949	33,550
投資その他の資産		
投資有価証券	496,432	477,887
長期貸付金	39,555	39,010
繰延税金資産	105,306	108,731
その他	138,310	139,994
貸倒引当金	△15,475	△15,475
投資その他の資産合計	764,129	750,148
固定資産合計	1,424,434	1,435,332
資産合計	6,598,292	5,491,488

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,794,082	1,382,429
短期借入金	1,000,000	870,000
1年内返済予定の長期借入金	189,200	90,400
リース債務	12,182	9,739
未払法人税等	120,706	3,362
賞与引当金	79,683	11,685
販売促進引当金	56,823	101,599
その他	198,877	352,761
流動負債合計	3,451,555	2,821,978
固定負債		
長期借入金	505,000	174,000
リース債務	32,401	27,338
退職給付引当金	326,250	302,183
役員退職慰労引当金	54,934	59,340
その他	185,451	182,752
固定負債合計	1,104,037	745,614
負債合計	4,555,592	3,567,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	295,451	295,451
利益剰余金	1,028,467	908,480
自己株式	△40,026	△39,896
株主資本合計	1,948,392	1,828,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,344	45,600
評価・換算差額等合計	51,344	45,600
少数株主持分	42,963	49,758
純資産合計	2,042,699	1,923,894
負債純資産合計	6,598,292	5,491,488

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	3,812,245	3,688,089
売上原価	2,828,427	2,731,564
売上総利益	983,817	956,524
販売費及び一般管理費	748,138	748,187
営業利益	235,678	208,337
営業外収益		
受取利息	813	665
受取配当金	1,158	1,577
持分法による投資利益	10,046	10,294
その他	6,578	20,139
営業外収益合計	18,597	32,676
営業外費用		
支払利息	12,650	12,228
その他	4,141	1,268
営業外費用合計	16,791	13,497
経常利益	237,484	227,517
特別利益		
貸倒引当金戻入額	272	144
役員退職慰労引当金戻入額	10,700	—
特別利益合計	10,972	144
特別損失		
固定資産除却損	546	239
ゴルフ会員権評価損	—	828
リース解約損	—	417
特別損失合計	546	1,485
税金等調整前四半期純利益	247,910	226,176
法人税、住民税及び事業税	68,798	117,612
法人税等調整額	32,507	△19,659
法人税等合計	101,306	97,953
少数株主損益調整前四半期純利益	146,604	128,222
少数株主損失(△)	△3,831	△6,443
四半期純利益	150,435	134,666

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	2,368,323	2,428,010
売上原価	1,733,322	1,805,858
売上総利益	635,001	622,152
販売費及び一般管理費	408,897	422,338
営業利益	226,103	199,813
営業外収益		
受取利息	401	328
その他	5,465	13,311
営業外収益合計	5,867	13,640
営業外費用		
支払利息	6,313	6,518
持分法による投資損失	5,789	989
その他	4,124	1,252
営業外費用合計	16,227	8,760
経常利益	215,742	204,693
特別利益		
貸倒引当金戻入額	△494	△497
特別利益合計	△494	△497
特別損失		
固定資産除却損	81	42
リース解約損	—	417
特別損失合計	81	459
税金等調整前四半期純利益	215,166	203,736
法人税、住民税及び事業税	68,065	94,261
法人税等調整額	19,323	△10,582
法人税等合計	87,389	83,678
少数株主損益調整前四半期純利益	127,777	120,057
少数株主利益	2,777	757
四半期純利益	124,999	119,300

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	247,910	226,176
減価償却費	54,815	59,967
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,603	24,066
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△27,976	△4,405
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,463	67,998
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△260	△277
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△53,246	△44,776
受取利息及び受取配当金	△1,972	△2,243
支払利息	12,650	12,228
持分法による投資損益 (△は益)	△10,046	△10,294
売上債権の増減額 (△は増加)	△826,967	△1,172,393
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,645	△90,837
仕入債務の増減額 (△は減少)	613,539	448,982
その他	△66,637	△107,885
小計	△115,697	△593,691
利息及び配当金の受取額	4,053	3,989
利息の支払額	△12,670	△13,723
法人税等の還付額	883	37,523
法人税等の支払額	△92,161	△4,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	△215,592	△569,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△128,067	△58,077
投資有価証券の取得による支出	△1,075	△1,167
貸付けによる支出	△1,200	△284
貸付金の回収による収入	3,690	723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,652	△58,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480,000	130,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△34,800	△70,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,410	△7,804
自己株式の取得による支出	△2	△130
配当金の支払額	△9,787	△14,679
少数株主への配当金の支払額	△482	△482
財務活動によるキャッシュ・フロー	431,517	536,703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89,272	△92,052
現金及び現金同等物の期首残高	525,965	884,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	615,237	792,193

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。